

[主な行動計画]

．子どもたちの笑顔のために

市民の健康づくりの推進

健康づくり推進室の設置

～乳幼児期から学齢期・就業年齢期・高齢期の各年代にあわせたきめ細かな健康づくり運動を拡充するため、総合保健センターが中心となり、教育委員会や学校、医療機関・介護・福祉施設等が連携し、各種事業を推進します。

ガン検診受診率の向上

～全道主要都市最下位からの脱却を図ります。

総合療育センターの設立

～障害児(者)施設3園の統合により障害の早期発見・療育・生活指導を総合的に推進します。

地域の高度医療連携の推進

～市立函館病院の経営健全化をはじめ、総合病院・専門病院との連携により地域の高度医療を確立します。

夜間急病センターの移転・充実

温かい介護・福祉サービスの推進

介護・福祉施設等職員の人材育成

～関係法人・会社等の協力を得て、職場環境の向上に努めながら、指導者・人材の育成を進めます。

障害者自立支援法による利用者負担の軽減

水族館はつくりません！

時代の状況を認識すると、市民世論を二分しながらの建設は、まちの将来を誤るものです。

私たちは、むしろ、海に囲まれ・海とともに発展してきた地域として、研究施設の公開や体験学習などの海洋教育を含め、広く子育てと教育の充実に力を尽くします。

子育て支援の推進

小中学生の社会教育施設利用の無料化

第3子以降の保育園・幼稚園・小中学校など各種費用の無料化

保育料の大幅軽減（第2子の負担割合軽減を含む）

近隣自治体の小・中学生までの医療費助成など各種支援制度の不均衡是正の検討

施設を必要とする全学童保育所への公共施設等の確保と指導者の育成・支援

既存児童館の地域コミュニティ施設「ひろば館」への再編検討

子ども会や少年団など子ども育成活動への大幅支援

～子どもたちの幸せとはいったい何でしょう？

年に1～2回いく水族館よりも、毎日のように通っている子ども会や少年団、クラブ活動などが大切です。私たちは、指導者との関わりや友人とのふれあいが子どもの幸せ、子どもの育成につながると考えます。

校長先生の「知恵の予算」の確保

特色ある学校づくり

～各学校の創意工夫で特色ある教育を実現するため、校長先生の裁量で使える予算(1校・平均100万円程度)を確保します。事業評価で優れた事業は各校に拡げ、切磋琢磨で学校教育の充実を図りましょう。

花いっぱい・はだしで走れる小学校づくり

花と緑の学校づくり、小学校グラウンドの芝生化を進めます

～小学校は地域コミュニティの中心です。小学校が花と緑に包まれればまちは変わります。芝生のグラウンドについても、既に青年会議所の皆さんがボランティアで試行しており、全国各地で取り組まれています。子どもたちがはだしで駆け回る楽しい学校づくりに着手します。

子どもなんでも相談110番の設置

～子どもに関わる問題は、教育委員会から保健所・福祉部など多部局にわたります。

市長直結の「子育て推進室」を創設するとともに、わかりやすく親切・丁寧、部局連携で横断的に対応できるよう、「子どもなんでも相談110番」を設置します。

地域固有の文化づくり

五稜郭フィールド・ミュージアム構想の推進

～五稜郭周辺一帯を野外博物館のように、第2の「五稜星の夢」となる照明付き散策道など、文化ゾーンとしての環境整備を進めます。

箱館奉行所の復元整備、南茅部縄文遺跡群・縄文文化交流センターの整備

旧ロシア領事館の復元、青柳町旧図書館本館の活用検討

～全国的にも稀な資料を有する民間の写真図書館への支援も含めて検討します。

美しいまちの形成

地区別での魅力ある都市景観の創出

大森浜散策道、展望広場等の整備推進

ごみゼロのまちの推進

～京都や北陸の古都金沢のような「ごみゼロのまち」をめざします。

空き地・空き家対策の強化と大規模土地所有対策による土地の流動化

都市交通施策の推進

エコロジー・パス(環境定期券)発売の検討

～「考え直そう、乗り換えよう」を合言葉に、函館バスと連携し区間無指定の乗り放題定期券の発売を検討し、公共交通への誘導を図ります。

．地域の未来のために

函館は、国際海峡を有し北海道・東北「ほくとう日本」の中心にあるという地理的優位性、開港都市という諸外国との関係での歴史性、多様な商業・貿易・産業や教育・学術研究機関の集積、陸・海・空交通体系の存在など、優れた環境下にある都市です。

地球時代が到来している今日、私たちは、新たな発展可能性を求めて、まちづくりの将来目標を 函館を極東アジアのセンターに！ としたいと考えます。

それは、規模の大きさではありません。観光や教育・学術研究、福祉・文化など、各分野にわたって、極東アジア地域の都市づくりモデルとなれるまち、人材が輩出し、価値を創造し、価値をもって世界に貢献できるまちをめざすものです。

1．知の集積と産業創出プロジェクトの推進

キャンパス都市の形成

大学センターの設立による大学間連携の促進

～共同授業や単位互換、教官の相互連携などにより、単科大学の魅力を高めます。

共同研究センターの拡充による大学と企業との連携強化

大学の国際連携(姉妹校・学術交流等)への支援

私立大学等の特色づくりへの支援拡充

ロシア極東大学函館校の市立大学化と極東地域の情報センター化

国際水産・海洋都市構想の推進

水産・海洋都市推進機構の設立

水産・海洋総合研究センターの整備

研究者・研究所・関連企業の誘致

旧ドック跡岸壁整備による調査船等の寄港基地化

国際観光・コンベンション都市の形成

函館らしい都市イメージ・観光デザインの確立と情報発信

夜景グレードアップなど観光資源の充実

コンベンション施設の整備

～緑の島において分科会開催が可能な利便性の高い施設の整備を進めます。施設設計に当たっては、この地区一帯が函館の原風景といえる箇所であることから、国際コンペ等によりデザイン性の高い施設計画を検討します。

コンベンション誘致・受入れ実施体制の充実

観光コンシェルジェ(総合案内)機能の確立

国際交流・貿易の促進

姉妹都市(5都市)交流の促進

北海道国際交流センター等による国際貢献活動への支援

国際貿易センターの機能強化とサハリン・プロジェクトなど貿易の促進

国際定期コンテナ航路の充実

定住者誘致事業の推進

～ 滞在型生活体験事業・住宅情報の提供など各種サービスを提供し、団塊世代の定住を促進します。

力強い地場産業(一次・二次産業)づくり

沿岸漁業「日本一のまち」の推進

農水産基盤の整備・高度化と担い手の育成

ITやバイオなど新産業の創出と企業の誘致

函館ブランドの顕彰と情報発信

中心市街地の活性化と商店街の特色づくり支援

函館リサーチ&ビジネスパーク構想の推進

函館地域産業振興財団の機能充実

産業・労働政策推進体制の再編・強化

既存経済部局を産業政策部と観光・コンベンション部に再編検討

～ 民間からの人材も得て、一・二・三次産業全般の政策部門と観光部門の分離を検討します。

労働政策室の設置

～ 企業等の協力を得ながら、正規就業機会の増大など雇用の安定と雇用環境の向上を図っていくため、労働政策部門の強化を検討します。

2. 陸・海・空総合交通体系の整備

北海道新幹線をはじめ、交通体系は地域の発展に不可欠な基礎的インフラです。

この整備充実に国や北海道、道南各自治体、関係機関の協力を得て、全力で取り組みます。

北海道新幹線新青森～新函館間の早期開業

新幹線時代に対応したまちづくり

～ 特に関東以北の地域を視野に、交流の促進と地域の魅力づくりを図っていきます

縦貫自動車道、新外環状道路、国道 278 号など幹線道路の整備

若松地区旅客船ふ頭など函館港の整備

国内・国際航空路線の充実と新規航空路の開設

・市民の自治を拡げます

みんなが住みたいと思うまち。それは、たくさんの笑顔と幸せがあって、みんながこのまちのために何かをしてみたい・協力してみたい、そのことで友人も得られ、人生が一層楽しくなる、地域のコミュニティも温かさと元気に包まれているまち。

そのために私たちは、市民の自治を拡げ、「市民の手による市民のための市民の市政」を実現することをめざします。

部局長の「人づくり・知恵の予算」の確保

人づくり事業の推進

～各分野の企業・団体などの人材育成を進めるため、部局長の創意工夫と裁量で使える予算を確保します。

行財政改革の推進

簡素効率化などによる職員数の削減

アウトソーシング(外部委託)の推進

～公共サービスの外部委託は、単に安上がりの観点だけで進めると地域社会が荒廃します。

若者の正規雇用の確保や、地元企業・市民活動団体・NPO育成という観点をもって推進します。

市民の目線を大切にしたい科学的行政の推進

市民意見傾向調査(課題別・随時)の実施

市政モニター制度の設置

職場倫理ホットラインの設置

広域自治体函館市の形成

合併旧町村への「地区制度」の創設

～合併後の新函館市は、都市と漁村の連合体です。

合併地区が漁村の良いところを生かし、独自の裁量を持って自立的に発展できるよう、2か所程度に特別職の地区長(支所長兼務)を置く地区制度を創設します。

地域コミュニティの再生

職員の地域活動・市民活動参加の推進

～参加することで、市政と市民との接点を広げ、市民的感覚を涵養します。

男女共同参画社会の推進

自治基本条例の制定

行政の「市民化」の推進

各種条例の「市民条例化」の検討

～既存の条例・規則を分かりやすい市民の言葉に置き換えることについて、検討を進めます。